

正月とは誠に有難い風習です。心身ともに一年を振り返り是正する為に考える時間を与えられた、三ヶ日です。古今和歌集の巻第七に わが君は千世に八千世にさざれ石の巖となりて 苔のむすま で」と、日本の国歌の元が詠まれています。平成三十一年の幕が開きました。現天皇が迎えた最後の正月です。日本の文化は天皇の歩みと、ともに歴史を刻んできました。代が何代替わろうとも常に榮 えんことを国民の一人として願っています。古事に **大を玩べば徳を喪い、物を玩べば志を喪う**とあります。良き教えには違いございませんが言うは易けれど、実行していくことはなかなかできることではありません。相手を敬う事で、我が徳も増える。徳は命と知るべし。どなたかの詠 舟斎か)に うつすとも水は思わず うつるとも月は思わず さる沢の池」物の本質は思わぬところに存在するものです。陰徳が身に付いて来るような行動、精進したいものです。

天海僧正は **気は長く、勤めはかく色薄く食細くして、心広けれ**との金言を残されました。

葉隠」によると、佐賀藩の武士であった石田一鼎は 名人も人、われも人、なんの劣ることがあろうかと、一度思い立って立ち向かえば、もはや、その道に入ったものといえよう。孔子は十五歳ほどの年少で学問の道に志を立てたところが聖人なのである。いろいろと修行を積むことによって聖人になられたのではない」と、小さい時から志を持って永きに渡り努力してゆく結果が多くの実りを産むと考えて良いかと思えます。学問ですがスケート・水泳・体操等スポーツ選手なんかも幼少から頑張ってみえます。中日春秋に禪の言葉 無位の真人」を引用し、将棋の羽生善治さんが二七年間保持したタイトルを失冠され肩書を失いました。栄光も名誉も権威もすて、肩書を作られること無くただの九段とされました。本人の希望というのがいい」とありました。その通りでしょう。又、一歩から自分を見つめ直され、将棋の世界で精進されることでしよう。期待しております。

達磨大師様は悟りを得るために座禅をし、お尻が腐ってくるまで座っていたそうです。我々はそこまでする必要はないと思えますし、もともてできないでしょう。同じ行でも念仏は他力で阿弥陀如来さまを帰依する事で信心が深まるという教えであります。法然上人様は 念仏の行は、もとより行住坐臥時 處諸縁を嫌わざる行にて候う」と申されました。念仏を称える事は簡単な、行です。といいますのも南無阿弥陀仏・南無阿彌陀佛と、考えなくても、簡単に称えることができます。称え続けられ、それで良いのです。法然上人様は、念仏は学問をして念の心を悟ってから申す必要は無いとおっしゃいました。選択集」を著述し、**我々を救う為には、お念仏しかない**との立場を執られ、他力念仏を主とする浄土宗門をお開きになられたのです。立教開宗です。

ある書物に **道徳ある者は衆を樂しませ、道徳無き者は身を樂しむ**と訓戒せり。

今年も平和を望んでやみません。長」という字がございます。家庭においては 家長」です。家庭の円満が国造りの基礎になります。家族を束ねるのが 長」の役目でございます。最近では 長」が誰であるかも分からず、それぞれが勝手気ままに行動しているようにも思えます。自分勝手気ままなことを平気で進言するようなことになれば、市の長である市長も市の 政」に支障を来すかもしれません。学長・校長・教育長、会長・社長に理事長と世の中、長」たる方々が責務をこなして見えます。**肩書を持つ方々に敬意を表す事ができ、世の中が円満に平和であるようにと願います。**

平成三十一年一月一日

善壽男善入院油掛地藏尊